Baxter

PD患者さんのための

災害対策マニュアル

バクスター　PD患者さんのための災害対策マニュアル

　このマニュアルは、腹膜透析を行っている患者さんの災害対策についてまとめたもので、以下のように四部構成になっています。災害時の備えと対処の一助になれば幸いです。是非ご一読ください。

第1章「普段からの備え」

　万が一災害にあっても被害や治療への影響を最小限におさえるために、普段から準備しておきたいことが記してあります。

第2章「災害が起こってしまったら」

　実際に災害が起きたときや避難するとき、避難した後、どのように対処すべきかを記してあります。

第3章「緊急時の連絡先と連絡方法」

　いざというときの医療機関等の連絡先や家族との連絡方法、ご自身の治療情報など、災害時に的確な連携が取れるよう、最新の情報を記録します。

第4章「災害時のお役立ち情報」

　伝言ダイヤルのかけ方や種類、航空機へのゆめ／ゆめプラス、くり～んフラッシュ、透析液の持ち込み方法、ゆめ／ゆめプラスの停電時の詳細な操作方法など、お役立ち情報を記載しています。

監修：東京女子医科大学　腎臓病総合医療センター　血液浄化療法科
教授　秋葉 隆 先生
日本医科大学　腎臓内科
教授　飯野 靖彦 先生

目次

第1章 普段からの備え …… 4

❶ 緊急連絡先、避難先を確認しましょう
1）災害時の避難経路は？避難先は？
2）いざという時の自分達の連絡先を伝えよう
3）かかりつけ病院などの連絡先を確認しよう
4）緊急連絡カードを携帯しよう

❷ かかりつけ病院と災害時の治療について相談しましょう
1）治療中に災害が起きた場合の対処法
2）一時的にAPDが使用できない場合の対処法
3）ご自宅の在庫について

❸ 避難用物品の準備をしましょう
1）緊急避難時に持ち出す物品
2）避難後、落ち着いたら持ち出す物品

❹ 製品について知っておきましょう
1）ゆめ/ゆめプラス
2）くり〜んフラッシュ
3）加温器

第2章 災害が起こってしまったら …… 11

❶ 災害発生時の行動は？
1）災害時の行動の流れ
2）カテーテル、接続チューブが破損もしくは汚染した場合
3）治療中に災害が起きた場合
4）透析液、交換キット類の在庫の被害状況の確認

❷ 避難する場合は？
1）避難場所での治療準備
2）避難場所での治療

❸ 災害時の食事管理について

❹ 内服薬について

第3章「緊急時の連絡先と連絡方法」情報記載ページ …… 23

第4章 災害時のお役立ち情報 …… 26

第1章

第2章

第3章

第4章

第1章 普段からの備え

災害に備えて、以下の項目を確認し、準備しておきましょう。

記録しましょう!

下記❶の情報を第3章「緊急時の連絡先と連絡方法」（23ページ～24ページ）に書き込んでおきましょう。

1 緊急連絡先、避難先を確認しましょう

1）災害時の避難経路は?避難先は?

避難経路、避難先を確認し、ご家族との連絡方法、集合場所も決めておきましょう。

2）いざという時の自分達の連絡先を伝えよう

かかりつけ病院には、緊急連絡先（自宅電話、携帯電話、その他連絡先、パソコンや携帯電話のメールアドレスなど）と、被災した場合の避難場所を伝えておきましょう。

第3章　23ページをコピーしてご利用ください

3）かかりつけ病院などの連絡先を確認しよう

かかりつけ病院との連絡方法（病院代表電話、透析室直通電話、業務用携帯電話、パソコンや携帯電話のメールアドレスなど）を確認しておきましょう。

災害時の情報確認のポイント

- ご自身の被災状況、体調
- 治療継続の可否
- 透析液や交換キットの在庫の有無
- かかりつけ病院で緊急時の対応がとれるか

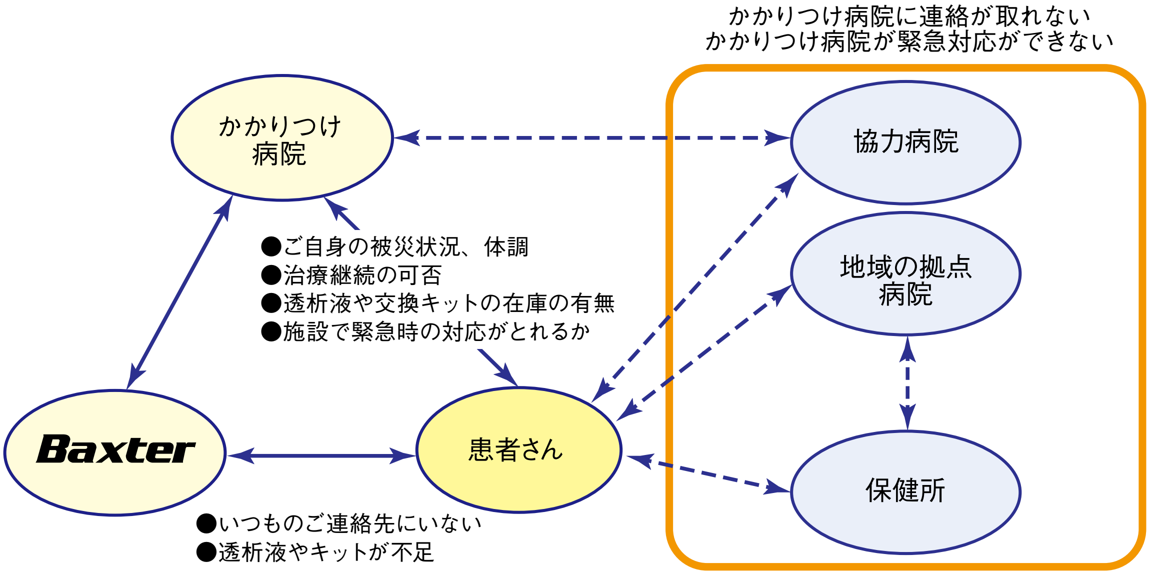
かかりつけ病院に連絡が取れない場合や病院自体が被災し緊急対応が行えない場合に備えて、他の協力病院、地域で指定されている災害拠点病院、最寄りの保健所を確認しておきましょう。

＜バクスターからのお願い＞

バクスターは災害時（震度5強以上の地震、台風、豪雨、噴火などで安否確認が必要とされた場合）には、サービパックグループの担当者から安否確認や治療継続の可否、透析液やキットの在庫状況の確認の電話をしています。
以下のような場合には必ずバクスターまでご連絡ください。

- 避難場所などに移動して、いつものご連絡先にいらっしゃらない場合
- 透析液が不足するなど至急連絡を取る必要がある場合

バクスターの対応連絡先は緊急連絡カードおよび第3章「緊急時の連絡先と連絡方法」（25ページ）に、全国の事業所の連絡先は巻末に記載されています。



お役立ち情報

災害時は、電話がかかりづらくなります。
第4章　26ページの固定電話、携帯電話による災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板などを活用すると家族やかかりつけ病院との安否確認に役立ちます。

4）緊急連絡カードを携帯しよう

34ページと35ページの間にあるとじ込みの緊急連絡カードに、記入例を参考に必要事項を書き込み、財布や身分証ホルダーなどに入れて常に携帯してください。避難先での適切な治療や、意識障害で発見された時などに役立ちます。

緊急連絡カード

鉛筆で記載し必要に応じ情報を書き換えてください。

記入例

表

緊急連絡カード（腹膜透析者）：私は腹膜透析を行っている患者です。　裏面に治療内容が記載されています。

ふりがな	はるみ　かずお
氏名	晴海　一男
住所	東京都中央区晴海1-8-10
電話（自宅）	03-1111-2222
電話（携帯）	090-1111-2222
生年月日	明・大・(昭)・平　20年　1月　1日
血液型	A・O・(B)・AB　RH（(+)　−）

緊急連絡先		
家族	晴海　一子	03-2222-1111
通院している病院	東京区立中央病院	03-2222-3333
透析液の配送について	バクスター サービパックグループ	0120-033689
透析関連機器について	バクスター CAPDコールセンター	0120-506440
その他連絡先	バクスター 透析製品事業部	03-6204-3700

患者情報		
アレルギー	なし	
禁忌薬剤	なし	
合併症	糖尿病	
感染症	HBV抗原　（+・(−)）	HCV抗体　（+・(−)）
	HBV抗体　（+・(−)）	W氏　（+・(−)）
内服薬	お薬手帳を参照ください	

裏

私は腹膜透析を行っている患者です。万一の場合、裏面の病院までご連絡いただけますようお願いします。

接続チューブ	(UV（くり〜んフラッシュ）)・システムII（手動）	HD併用	有・(無)

1日あたり、以下の透析液を使用しています。

透析液	種類			容量	バッグ数
処方薬剤（CAPD）	ダイアニール・(ダイアニール-N)	PD-2・(PD-4)	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・(2,000mL)・2,500mL・5,000mL	3
	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	(エクストラニール)			(1,500mL)・2,000mL	1
処方薬剤（APD）	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	エクストラニール			1,500mL・2,000mL	

※APDで最終注液以外に昼間バッグ交換する分は、「CAPD」に記載

●医療関係者の方へ●　血糖測定値に関する安全性情報

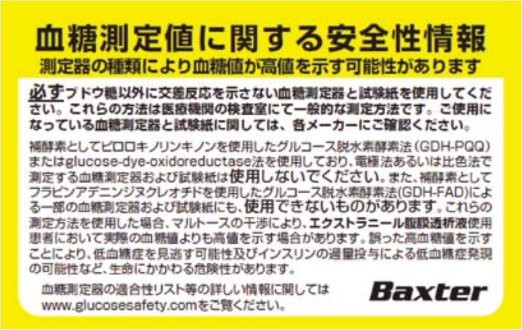
※左記の処方薬剤でエクストラニールを使用している場合、
血糖測定器の種類により血糖値が高値を示す可能性があります。
必ずブドウ糖以外に交差反応を示さない血糖測定器と試験紙を使用してください。

使用できないもの
GDH-PQQ法もしくはglucose-dye-oxidoreductase法を使用しているもの

一部使用できないもの
GDH-FAD法を使用しているもの
血糖測定器の適合性リスト等、詳細については
www.glucosesafety.comを参照ください。

「血糖測定値に関する安全性情報」カード

また、エクストラニールを使用している方は、一部血糖測定器及び試験紙で血糖値が実際より高く表示されることがあるため、緊急連絡カードと一緒に「血糖測定値に関する安全性情報」カードも携帯しましょう。



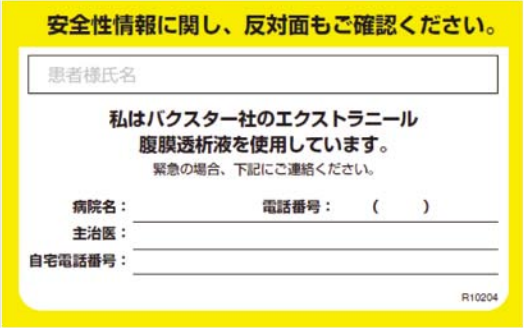
血糖測定値に関する安全性情報
測定器の種類により血糖値が高値を示す可能性があります

必ずブドウ糖以外に交差反応を示さない血糖測定器と試験紙を使用してください。これらの方法は医療機関の検査室にて一般的な測定方法です。ご使用になっている血糖測定器と試験紙に関しては、各メーカーにご確認ください。

補酵素としてピロロキノリンキノンを使用したグルコース脱水素酵素法（GDH-PQQ）またはglucose-dye-oxidoreductase法を使用しており、電極法あるいは比色法で測定する血糖測定器および試験紙は使用しないでください。また、補酵素としてフラビンアデニンジヌクレオチドを使用したグルコース脱水素酵素法(GDH-FAD)による一部の血糖測定器および試験紙にも、使用できないものがあります。これらの測定方法を使用した場合、マルトースの干渉により、エクストラニール腹膜透析液使用患者において実際の血糖値よりも高値を示す場合があります。誤った高血糖値を示すことにより、低血糖症を見逃す可能性及びインスリンの過量投与による低血糖症発現の可能性など、生命にかかわる危険性があります。

血糖測定器の適合性リスト等の詳しい情報に関しては
www.glucosesafety.comをご覧ください。

Baxter



安全性情報に関し、反対面もご確認ください。

患者様氏名

私はバクスター社のエクストラニール
腹膜透析液を使用しています。
緊急の場合、下記にご連絡ください。

病院名：　電話番号：　（　）
主治医：
自宅電話番号：

R10204

2　かかりつけ病院と災害時の治療について相談しましょう

1）治療中に災害が起きた場合の対処法

CAPDバッグ交換中やAPD治療中に災害が起きた場合の対処について、かかりつけ病院に確認の上、ご自身でできるようにしておきましょう。

実際の対処法（11 ～ 13ページ）
第2章「災害が起こってしまったら」の1．を参照

2）一時的にAPDが使用できない場合の対処法（APD使用者）

停電や治療場所（避難所等）の影響でAPD（ゆめ/ゆめプラス）が使用できない場合を想定し、CAPD（ツインバッグ）の交換手技を確認しておきましょう。

3）ご自宅の在庫について

過去の災害を振り返ると、水道や電気、ガスなどのライフラインが復旧するまでに長くて1週間ほどかかることが想定されます。

腹膜透析治療を安全に継続するために、普段から透析液や交換キット類について、1週間分程度の余裕を持てるよう、かかりつけ病院と相談しておきましょう。

また、APD使用者は、CAPD用透析液（ツインバッグ）や必要物品も同様に1週間分程度の余裕を持てるよう、かかりつけ病院と相談しておきましょう。
（保管場所の都合等により1週間分が困難な場合、最低でも停電復旧までの目安である3日分程度）

3 避難用物品の準備をしましょう

1）緊急避難時に持ち出す物品

□ 緊急連絡カードなど、最新の透析治療内容を記したもの
□ お薬手帳（最新のコピー）
□ 身体障害者手帳（コピー）
□ 特定疾病療養受療証（コピー）
□ 健康保険証（コピー）
□ 毎日必要な内服薬（約1週間分）
□ 絆創膏などの救急セット
□ 飲料水
（数日分、500mlのペットボトルを何本か用意すると便利です）
□ 非常食/治療用食品（数日分）
□ 携帯電話と充電器、携帯ラジオ、懐中電灯（予備電池）
□ 現金や貴重品
□ 電話帳（アドレス帳）
□ 災害対策マニュアル（この冊子です）
□ その他必要と思われるもの

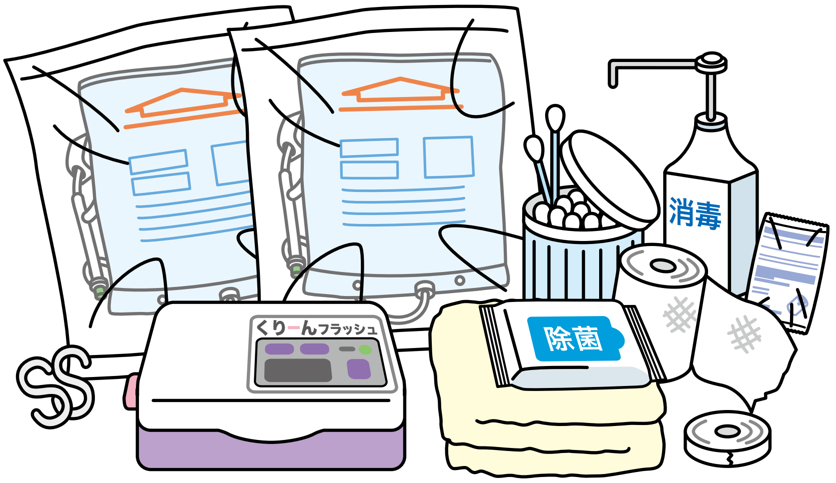
※薬の種類や量が変わった時に、薬を入れ替えるのを忘れないよう注意しましょう。
※内服薬、非常食、治療用食品、飲料水は、使用期限、消費期限が切れないよう、定期的に確認しましょう。

2）避難後、落ち着いたら持ち出す物品

腹膜透析液、交換キット類は予備を用意しておき、持ち出しやすいよう準備しておきましょう。

- □ 腹膜透析液
- □ 交換キット類
- □ くり～んフラッシュ（通常使用している方）
- □ S字フック（透析液バッグの重さに耐えられる頑丈なもの）
- □ はかり
- □ ウエットティッシュ（手指消毒用）
- □ カテーテルケア用品（消毒薬、綿棒、ガーゼ、テープ）

※腹膜透析液、交換キット類は使用期限の古いものから使用し、自宅の在庫の使用期限が切れないように注意しましょう。



4 製品について知っておきましょう

1）ゆめ／ゆめプラス

●夜間の治療中の緊急避難に備え、必要物品（くり～んフラッシュ、交換キットなど）をいつもAPDの側、手の届く範囲に準備をしておきましょう。

●停電時の、ゆめ/ゆめプラスの動作は、停電復旧までの時間によって異なります。詳細な操作方法は第4章「災害時のお役立ち情報」（28 ～ 29ページ）をご確認下さい。

●計画停電がゆめ/ゆめプラスの治療時間にかかる場合は、治療時間の変更などをかかりつけ病院の先生にご相談ください。

2）くり～んフラッシュ

●常に電源コードをコンセントに接続して電池を満充電の状態にしておきましょう。満充電であれば8回程度の照射が可能です。
電池の状態表示の詳細は第4章「災害時のお役立ち情報」（30ページ）をご確認ください。

●停電時の対処として役所や消防署、病院など公共施設で充電させてもらった事例がありました。
電池がなくなり、電源が使用できない状態が続く場合にどうしたらよいか、かかりつけ病院と決めておきましょう。

3）加温器

●小型バッグ加温器（ぽかおん）をお持ちの方は、DC12Vバッテリー使用の自動車のシガーライターソケット専用電源コードがついていますので、使い方を確認しておきましょう。

●DC12V以外（外国車やバス、トラックなど）で使用する場合は、DC12Vに変換できるインバーターを準備しておきましょう。

※自動車用電源は本来保温目的で使用しますので、家庭用電源を使用する場合よりも液が温まるのに時間がかかります。
※家庭用電源と自動車用電源は同時に入れないで下さい。
※シガーライターソケットの付いていない禁煙仕様の車もありますのであらかじめ確認しておきましょう。

第2章 災害が起こってしまったら

1 災害発生時の行動は?

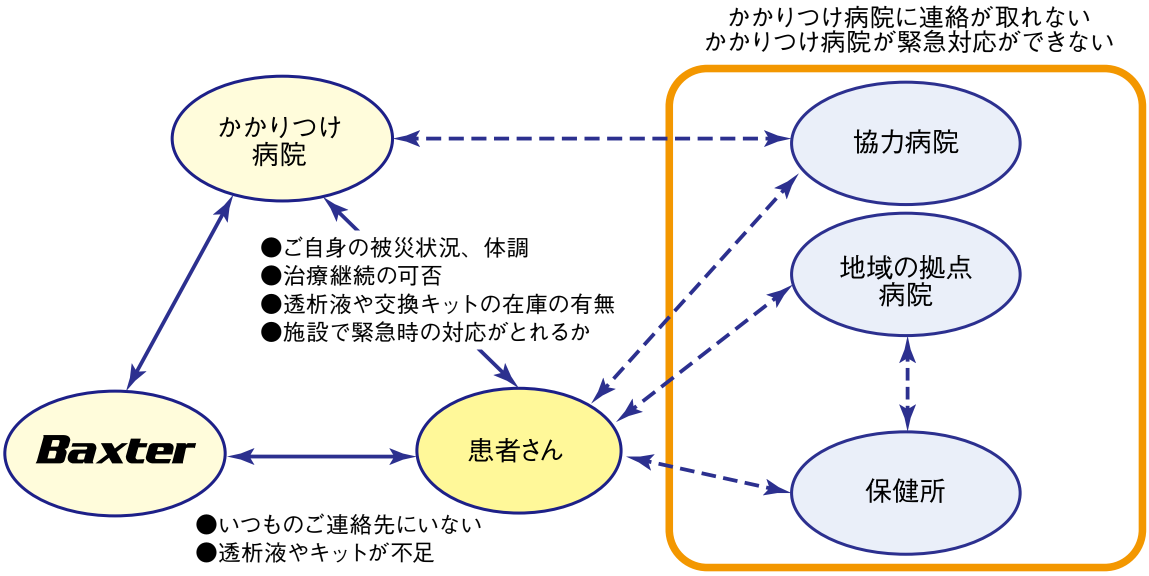
1）災害時の行動の流れ

災害が起こったら、まず自分の安全を確保

↓

治療中で、安全に治療継続できない場合は安全に「切り離し」を行う（13ページ参照）

- 身体に被害がある場合
  - ↓ 治療のため医療機関へ
- 身体に被害がない場合
  - 自宅が被災した → 透析液・交換キット類の被害状況確認 → 避難場所へ移動 → 緊急時連絡先（第3章に記載）に連絡
  - 自宅が無事だった → 透析液・交換キット類の被害状況確認 → 緊急時連絡先（第3章に記載）に連絡



2）カテーテル、接続チューブが破損もしくは汚染した場合

＜接続チューブの場合＞

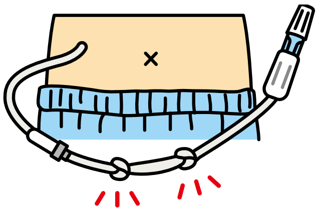
● ツイストクランプを閉めてください。

● 接続チューブを2か所、破損した場所よりおなか側で固結びするか、輪ゴムなどでしっかりしばります。

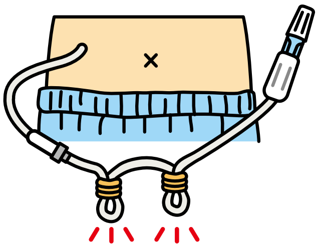
● カテーテルクランプがあれば、カテーテルクランプを使用してください。

● 速やかにかかりつけ病院へ連絡してください。

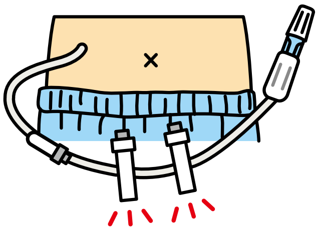
固結びの場合



輪ゴムを使用する場合

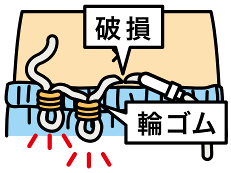


カテーテルクランプを使用する場合



＜カテーテルの場合＞

● 破損・汚染した部分よりお腹側を折り曲げて輪ゴムなどでしっかりしばります（できれば図のように2か所しばりましょう）。



● カテーテルクランプがあれば、カテーテルクランプを使用してください。

● 破損部分を清潔なガーゼで覆ってください。

● 速やかにかかりつけ病院へ連絡してください。

3）治療中に災害が起きた場合

透析が安全に継続できる場合

情報に気をつけながら治療を継続し、終了した後に避難します。

透析を中断した方がよいと判断される場合

＜CAPDの場合＞

治療を中断し、通常通りに切り離してキャップを装着し、避難します。

通常通りの切り離しができない場合は、バッグ交換中の透析液バッグ（くり～んフラッシュをお使いの場合にはくり～んフラッシュも）と新しい交換キットを持って安全な場所に避難してから、通常通りに切り離してキャップを装着しましょう。

＜APD（ゆめ／ゆめプラスご利用）の場合＞

以下の手順で切り離して避難します。

①停止ボタンを押します。

②接続チューブのツイストクランプ、コネクターラインのクランプを閉めます。

③清潔操作で新しいミニキャップ、もしくはUVフラッシュディスコネクトキットを使用して切り離します。

※治療中は、いつも必要物品を手の届く範囲に置いておきましょう。
※回路から切り離す余裕がない場合も想定されますので、その際の対応はかかりつけ病院に確認しておきましょう。

4）透析液、交換キット類の在庫の被害状況の確認

身体に被害がなければ、透析液、交換キット類の在庫の被害状況を確認し、使用できる在庫が少ないようであれば、かかりつけ病院に相談するか、またはバクスターサービパックグループに連絡しましょう。

2　避難する場合は?

1）避難場所での治療準備

＜避難にあたり＞

① 身体に被害がなく、余裕があれば、在庫の透析液と交換キット類の被害状況を確認しましょう。

②「緊急避難時に持ち出す物品」（8ページ）を持って、避難場所へ移動しましょう。

③ 落ち着いたら、透析に必要な物品（「避難後に落ち着いたら持ち出す物品」（9ページ））を避難場所に運びましょう

＜避難後に＞

① 避難所に待機する場合は、腹膜透析患者であることを申し出て、バッグ交換を行う場所などを相談しましょう。

② かかりつけ病院と連絡を取り、ご自身の被害状況、避難場所、不足物品、連絡先を伝え、今後の指示を受けましょう。

◆かかりつけ病院と連絡が取れない場合や緊急対応ができない場合には、協力病院や災害時拠点病院、最寄りの保健所に連絡を取りましょう。

③ バクスター　サービパックグループに連絡を取り、避難所に移動したことを伝え、不足物品の配送の相談をしましょう。

◆以下のような場合には必ずバクスターまでご連絡ください。

✓避難場所などに移動して、いつものご連絡先にいらっしゃらない場合

✓透析液が不足するなど至急連絡を取る必要がある場合

お役立ち情報

第3章　24ページに、かかりつけ病院、協力病院、災害拠点病院、最寄りの保健所の連絡先を記載しておきましょう。

2）避難場所での治療

災害時には、避難所等、いつもと違う環境で治療を行うこともあります。

<透析液の加温器が使用できない場合>

①小型バッグ加温器（ぽかおん）をお持ちの場合

● **車のシガーライターソケット専用電源コードを使う**

ー国産自動車（DC12V）➞そのまま接続

ートラックや外車➞インバータを使用

注 ぽかおんの自動車用電源は、本来保温用ですので、通常の加温より透析液が温まるのに時間がかかります。

②小型バッグ加温器（ぽかおん）をお持ちでない場合

● **オーバーパウチ（外袋）に入ったままの透析液を密封できるビニール袋に入れ、40度以下のお湯につけて温める。**

注 43度以上になると腹膜の熱傷を引き起こすことがありますので、十分にご注意ください。

● **透析液を抱いて体温で温める。**

いつもより低い液温の透析液をお腹に入れる場合には、透析液バッグを低めに吊り、透析液をゆっくりお腹の中に入れるようにすることで、低温による刺激を回避できます。

<手洗い>

除菌用ウエットティッシュや手指消毒用スプレーで代用しましょう。

<バッグ交換を行う場所>

なるべく清潔を保てる場所、またはそのような場所がなければ段ボールなどで周囲を囲うなどしてほこりを避けて行いましょう。

<出口部の洗浄>

ペットボトル飲料水などを代用し、その後必要に応じて消毒しましょう。

3 災害時の食事管理について

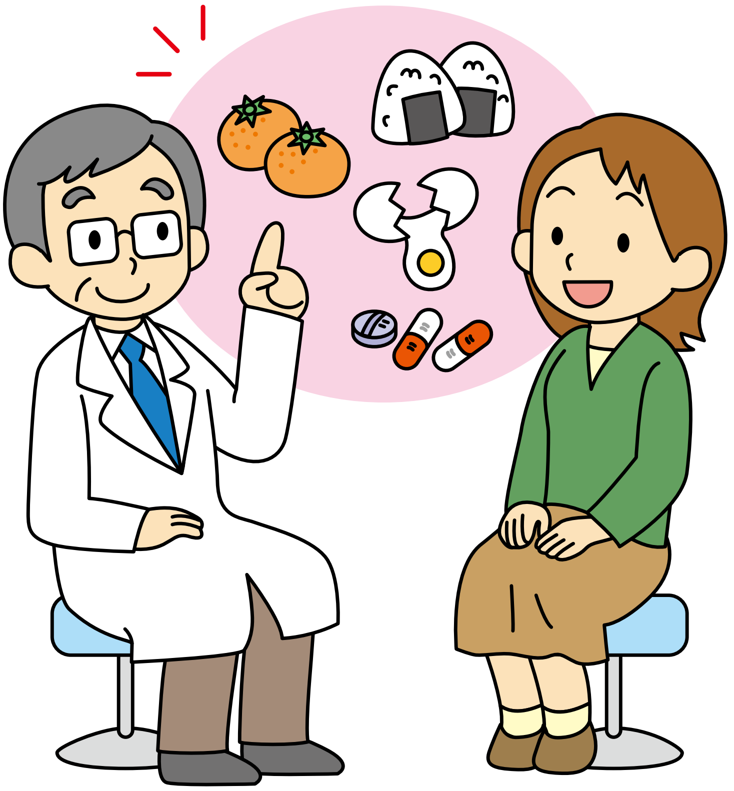
普段から、主治医や看護師、管理栄養士に相談し、ご自身の食事の注意点や制限について確認をしておきましょう。

災害時には、下記のような場合が考えられます

1）数日間、腹膜透析ができない
2）いつも通りのバッグ交換や貯留時間が確保できず、透析不足となる
3）内服薬や食料が不足し、体調がくずれる
4）配給食品のみで、いつもの食事バランスが保てない

このような状況下では、普段よりも一層上手に「食事」と「水分」の管理をすることが重要となります。

避難所での生活が長期化するようでしたら、ご自身が日ごろ受けている指導を念頭に、その時点で透析できている量を考慮して注意を払うことが必要となります。かかりつけ病院と連絡をとりあって指示を受けましょう。



1）災害時の食事管理：基本ポイント

＜きちんと食べて、熱量（エネルギー）を確保しましょう。＞

熱量摂取が極度に不足すると、体内では筋肉を分解して代替のエネルギーを得ようとします。その結果、筋肉が分解されて多くの尿毒素とカリウムが生じることから、透析ができない状況が長く続くと危険な状態になります。

避難所であっても、周囲の協力を得ながら、できるだけきちんと食べて透析治療を安全に継続できるように心がけましょう。

＜水分補給は適切に行いましょう。＞

腎臓の機能が残っていて尿が出ている方は、普段の1日の飲水量を守りましょう。

尿が出なくなっている方は腹膜透析の除水量と同じくらいの飲水量を守るようにしましょう。

ただし、過度な水分制限から深部静脈血栓症やエコノミークラス症候群などを合併して、危険な状態になることも報告されています。また、夏場の避難所では酷暑の環境も予想されますので、適切に水分を取るよう心がけましょう。

＜たんぱく質・塩分・カリウムの摂りすぎに注意しましょう。＞

避難所などで支給される食事の中には、たんぱく質・塩分・カリウムなどが多めに含まれる食品が少なくありません。

特に災害発生当初に支給される食品は、おにぎり、カップラーメンなどが多く、塩分が過剰になってしまいがちです。

19ページの表1には、災害時に支給が予想される食品の主な成分が一覧となっています。この表や、食品の包装・ラベルなどに表記された栄養成分量を参考に、エネルギーは十分に取りつつ塩分を控え、高カリウム血症の方はカリウム摂取を控える工夫が必要です。

2）災害時の食事管理：お役立ち情報！

＜普段からの準備＞

- ◆ 普段の状態でのご自身の食事の注意点や制限について医師・看護師・栄養士に確認しておく
- ◆ 普段の目標摂取量に合わせた数日分の食料品を、非常食として持ち出し物品に入れておく

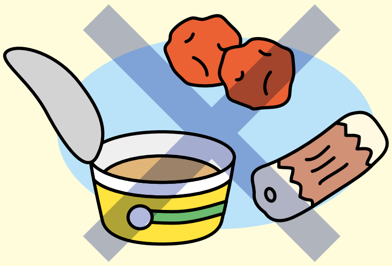
普段の状態での栄養成分摂取の目安について、主治医と相談の上、19ページに記録しましょう。

＜避難所でよく出る食事のココを工夫！＞

エネルギー確保のために、ごはん、パン、ビスケット等をできるだけ食べ、塩分の多そうなものは避ける

【塩分をおさえる工夫】

- ◆ 梅干や漬物は残す
- ◆ カップ麺などのスープは残す
- ◆ お弁当についている醤油やソースは使わない
- ◆ 味噌汁は控える
- ◆ 加工食品（ちくわ・かまぼこなどの練り製品、ハム、ウィンナーなど）はできるだけ避ける



【カリウムが高い人は】

- ◆ バナナは控えめに
- ◆ 野菜ジュース、トマトジュースは控える

＜「ナトリウム」と「食塩」＞

おそうざいなどの食品成分表示では、食塩がナトリウムの量で表示されているものがあります。以下の換算方法を参考に塩分の摂取量を調整しましょう。

ナトリウム量（mg）× 2.54 ÷ 1000 ＝ 食塩相当量（g）

例）ナトリウム量　1,000mg　＝　食塩　約2.54g

400mg　＝　食塩　約1.0g

コンビニおにぎり（鮭）：ナトリウム量　265mg　＝　食塩　約0.67g

表１：災害時に支給が予想される食品の主な栄養成分

	食品名 (g)	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	カリウム (mg)	水 分 (ml)	食 塩 (g)
ご飯 パン	おにぎり1個(120)	178	3.1	32	78	1〜1.5
	アンパン1個(80)	213	4.9	44	28	0.2
	クリームパン1個(75)	206	4.4	53	27	0.3
	ジャムパン1個(75)	210	3.2	41	24	0.3
	ロールパン1個(50)	140	4.4	50	18	0.6
	クロワッサン1個(50)	216	3.3	48	13	1
卵 牛乳	卵 1個(50)	81	6.2	60	37	
	牛乳 1本(200)	120	5.8	300	177	
	カロリーメイト 1箱(78)	400	8.1	90	5	0.9
果 物	バナナ1本(120)	104	1.3	468	90	
	りんご(中1個)(200)	100	0.4	220	172	
	みかん1個(70)	27	0.4	91	114	
	缶詰果物(100)	62	0.5	75	83	
飲 物	野菜ジュース1缶(190)	40	1.3	475	177	1.5
	トマトジュース1缶(190)	32	1.3	494	179	1.1
	缶コーヒー1缶(250)	115	2	175	222	
	サイダー1缶(250)	93			226	
弁当類	のり弁当	659	20.1	364	239	6.3
	幕の内弁当	734	26.8	565	287	4.5
	鮭弁当	701	21.1	613	323	4.3
	唐揚げ弁当	862	37.4	496	320	4.3

平成13年3月 東京都衛生局（現東京都健康局）「災害時における透析医療活動マニュアル」 参照

第2章 災害が起こってしまったら

確認して書き込んでおきましょう

ご自身の普段の状態での一日当たりの栄養成分摂取の目安について、主治医と相談の上、記録しておきましょう。(身体や透析の状態によって食事の制限が変わった場合は書き直してください)

総摂取エネルギー	飲水量	たんぱく質	塩分	カリウム
kcal	mL	g	g	mg

一日当りの透析液から吸収されるエネルギー量

Kcal

※総摂取エネルギー量から、透析液からの吸収されるエネルギー量を差し引いた分を、食事でとります。(処方が変わると吸収されるエネルギー量も変わるので都度確認しましょう)

4 内服薬について

腎不全患者さんの多くは、日常的に内服薬を服用しています。

災害時にも薬は飲み続ける必要がありますが、すぐに同じ薬が入手できないことも考えられます。

1）普段からの準備

- 主治医と相談し、緊急用に一週間分ほどの余裕を持ってお薬を出してもらい、お薬手帳と一緒に緊急避難時に持ち出す物品の中に入れておきましょう。

  ※ お薬の種類が変わった際には持ち出し物品内の薬の入れ替えを忘れないように注意。

- 薬には、2～3日飲まなくてもすぐに身体に影響がでないものと、飲まないと早期に身体に影響がでるものがあります。主治医と災害時の対処について相談しておきましょう。

2）災害時の内服薬の管理

- 体調が悪い時やお薬のことでわからないことがあるときは、主治医だけでなく、遠慮せず、避難所の医師に相談しましょう。

＜早期に身体に影響がでる薬＞

以下のような、飲まないと早期に身体に影響が出る薬は、欠かさずに飲みましょう。

①心臓の薬（ニトログリセリン製剤など）

②糖尿病の薬

災害時のストレスは血糖コントロールに悪影響を与えます。また、食事の間隔も不規則になりがちです。その際のインスリン治療や内服薬の飲み方について、普段から主治医の指示を受けておきましょう。

③高血圧の薬（降圧薬）

災害時のストレスや透析が不足するなどして、血圧が不安定になる可能性があります。特に血圧が普段から高めの方は、血圧上昇時の対処についても主治医と相談しておきましょう。

④カリウムをコントロールする薬

カリウムは高くなっても低くなっても、不整脈や筋力低下、麻痺といった症状につながります。そのため、適切な値を維持するためにカリウムを下げ（上げ）る薬が必要になることがあります。

＜その他の薬＞

　リンのお薬、尿を出すお薬など、普段服用しているそれぞれのお薬について、災害時にどのように対処すべきか主治医と相談しておきましょう。

第2章 災害が起こってしまったら

第3章、第4章はコピーして
複数の場所に保管し、
災害時にいつでも
持ち出せるようにしましょう。

第3章 「緊急時の連絡先と連絡方法」情報記載ページ

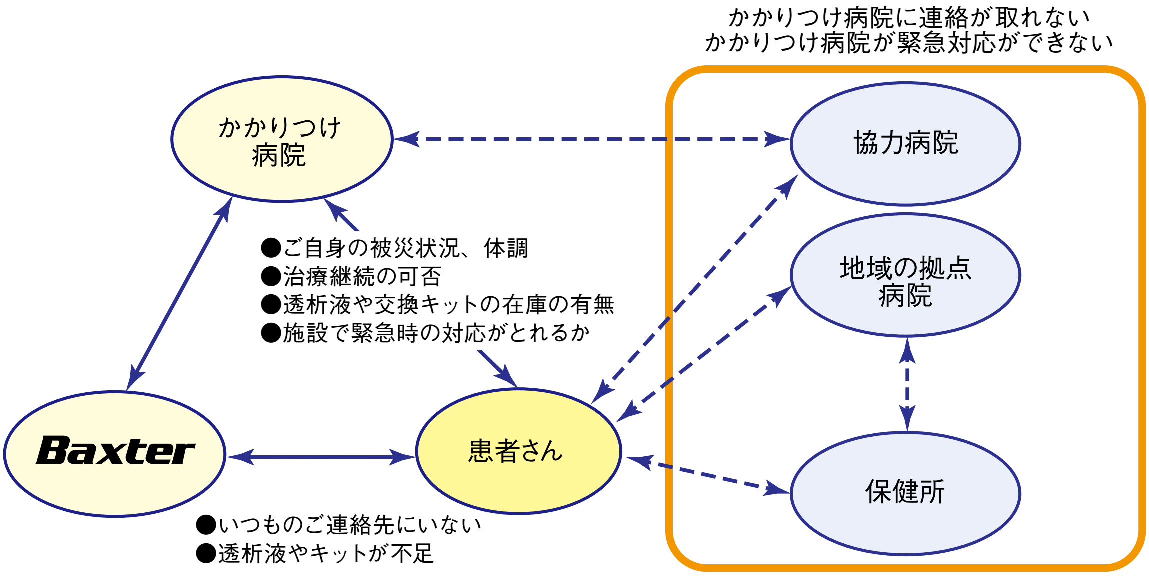
★このページは、かかりつけ病院に、緊急時の連絡先を伝える際にも活用できます。コピーをお渡ししておきましょう。

名前		
緊急時連絡先	自宅電話	携帯電話
	その他（パソコンや携帯電話のメールアドレスなど）	

避難先	自宅からの避難先
地図	

避難先	その他の避難先
地図	

緊急時の連絡先を確認し記録しましょう



かかりつけ病院

病　院　名	
代　表　電　話	
透　析　室　電　話	
業務用携帯電話	
メールアドレス	

関連協力病院、災害時拠点病院

病　院　名	
電　話　番　号	

病　院　名	
電　話　番　号	

最寄りの保健所

保　健　所　名　称	
電　話　番　号	

バクスター株式会社

●避難所で透析液が不足するなど、配送に関係するお問い合わせ

バクスター　サービパックグループ

フリーコール　0120-03-3689

TEL：03-6894-3100　FAX：03-6220-0360

営業時間　月～金（祝祭日以外）　9：00 ～ 5：30

●ゆめ、くり～んフラッシュなど、機器に関係するお問い合わせ

バクスター　CAPDコールセンター

フリーコール　0120-50-6440

TEL：03-6894-3005　FAX：03-6220-0351

24時間365日対応

●その他のお問い合わせ

バクスター本社　透析製品事業部

TEL：03-6204-3700　FAX：03-6204-3701

TEL：03-6204-3600（大代表）　FAX：03-6204-3601

営業時間　月～金（祝祭日以外）　9：00 ～ 5：30

※バクスター株式会社の事業所一覧は34ページを参照してください。

緊急連絡先カード

巻末のカードを切り取り、必要事項をえんぴつで記入し、財布などに入れて常に携帯してください。

緊急連絡先カード（見本）

表

緊急連絡カード（腹膜透析者）：私は腹膜透析を行っている患者です。　裏面に治療内容が記載されています。

ふりがな	はるみ　かずお
氏名	晴海　一男
住所	東京都中央区晴海1-8-10
電話（自宅）	03-1111-2222
電話（携帯）	090-1111-2222
生年月日	明・大・(昭)・平　20年　1月　1日
血液型	A・O・(B)・AB　RH（(+)　−）

緊急連絡先		
家族	晴海　一子	03-2222-1111
通院している病院	東京区立中央病院	03-2222-3333
透析液の配送について	バクスター サービパックグループ	0120-033689
透析関連機器について	バクスター CAPDコールセンター	0120-506440
その他連絡先	バクスター 透析製品事業部	03-6204-3700

患者情報		
アレルギー	なし	
禁忌薬剤	なし	
合併症	糖尿病	
感染症	HBV抗原　（+・(−)）	HCV抗体　（+・(−)）
	HBV抗体　（+・(−)）	W氏　（+・(−)）
内服薬	お薬手帳を参照ください	

裏

私は腹膜透析を行っている患者です。万一の場合、裏面の病院までご連絡いただけますようお願いします。

接続チューブ	(UV（くり～んフラッシュ）)・システムII（手動）	HD併用	有・(無)

1日あたり、以下の透析液を使用しています。

透析液	種類			容量	バッグ数
処方薬剤（CAPD）	ダイアニール・(ダイアニール-N)	PD-2・(PD-4)	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・(2,000mL)・2,500mL・5,000mL	3
	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	(エクストラニール)			(1,500mL)・2,000mL	1
処方薬剤（APD）	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	ダイアニール・ダイアニール-N	PD-2・PD-4	1.5・2.5・4.25	1,000mL・1,500mL・2,000mL・2,500mL・5,000mL	
	エクストラニール			1,500mL・2,000mL	

※APDで最終注液以外に昼間バッグ交換する分は、「CAPD」に記載

●医療関係者の方へ●　血糖測定値に関する安全性情報

※左記の処方薬剤でエクストラニールを使用している場合、
血糖測定器の種類により血糖値が高値を示す可能性があります。
必ずブドウ糖以外に交差反応を示さない血糖測定器と試験紙を使用してください。

使用できないもの

GDH-PQQ法もしくはglucose-dye-oxidoreductase法を使用しているもの

一部使用できないもの

GDH-FAD法を使用しているもの
血糖測定器の適合性リスト等、詳細については
www.glucosesafety.comを参照ください。

第4章　災害時のお役立ち情報

通信手段

　災害時には安否確認や問い合わせの電話が殺到し、電話がかかりにくい状態になることがあります。固定電話、携帯電話の災害用伝言サービスを利用しましょう。

●NTT災害用伝言ダイヤル

　NTT固定電話から「171」番にダイヤルして伝言の録音、再生ができるサービス

※あらかじめ家族や親類、かかりつけ病院などと、自宅か連絡をとりたい番号かを決めておきましょう。

　この伝言ダイヤルは、以下の日時に体験利用することができますので事前に一度お試しになられていると安心です。

【体験利用日】

- 毎月1日及び15日 00：00 ～ 24：00
- 正月三が日（1月1日00：00 ～ 1月3日24：00）
- 防災週間（8月30日9：00 ～ 9月5日17：00）
- 防災とボランティア週間（1月15日9：00 ～ 1月21日17：00）

　詳しい利用方法については、NTT東日本、西日本のホームページでご確認ください。

NTT東日本　http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/

NTT西日本　http;//www.ntt-west.co.jp/dengon/

●各社携帯電話　災害用伝言掲示板

　携帯電話やスマートフォンで、自分の安否を登録したり、家族の安否を確認したりすることができるサービスです。詳しい利用方法は各携帯電話会社に確認しておくことをお勧めします。

透析液・機械の　航空機　機内持ち込みについて

1）ゆめ/ゆめプラス

バクスターでは、ゆめ／ゆめプラスを航空機内に持ち込む（預け入れ／手荷物）ことが問題ないことを証明する資料を準備しています。航空会社ごとに対応が異なりますので、下記の対応一覧をご確認ください。

資料一式についてはバクスター　サービパックグループまでご請求ください。

	連絡	資料	預け荷物	機内持ち込み
日本航空（JAL）	搭乗の前日までに下記プライオリティゲストセンターまでにご連絡ください。 プライオリティゲストセンター （年中無休　9:00―17:00） 0120-747-707（無料）	事前連絡ができなかった場合、搭乗当日にバクスター資料をご持参ください。	○	○
全日空（ANA）	予約の際、あるいは、搭乗の3日前までに、下記デスクまでご連絡ください。 おからだの不自由な方のご相談デスク （年中無休　9:00―17:00） 0120-029-377（無料） 0570-029-377（携帯電話、有料）	事前連絡のうえ、搭乗当日、バクスター資料をご持参ください。	○	○
エアドゥ（AIRDO）	予約の際、あるいは、搭乗の前日までに下記予約センターへ連絡してください。 予約センター （年中無休 6:30―22:00） 0120-057-333（無料）		○	○
スカイマーク（SKYMARK）	予約の際、あるいは、搭乗の3日前までに下記予約センターまで連絡してください。 予約センター（年中無休 9:00―19:30） 050-3116-7370		○	×

2）くり～んフラッシュ

・機内にお持ち込みください。

・過去に航空会社側から安全かどうかの疑義確認があった事例はありませんが、心配な方にはバクスターから「安全証明書」を発行いたしますので、バクスター　サービパックグループまでご連絡ください。

3）透析液

・機内持ち込みにはせず、荷物として預け入れてください。

・預け入れ荷物の場合、通常提出書類は必要ありません。

※空港などの公共交通機関ではバッグ交換ができる場所を用意していることが多いので、空港でのバッグ交換をお考えの場合、事前の連絡で場所の確認をしておくと便利です。

ゆめ／ゆめプラスの停電時の動きと操作方法　詳細版

停電が発生した場合、ゆめは以下のように動作します。

1）治療を開始する前に停電が発生した場合

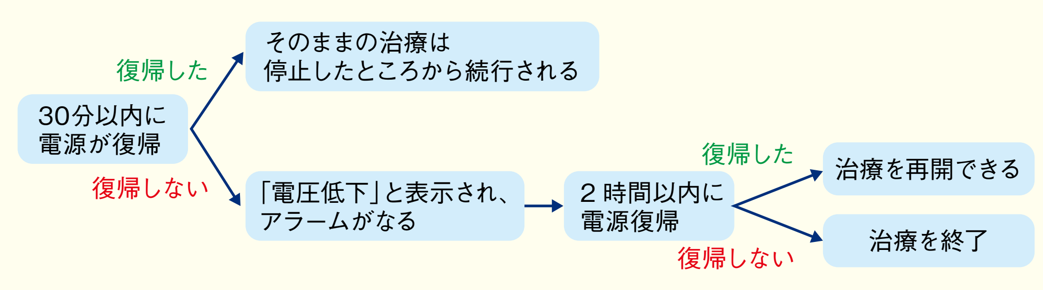
電源が復帰した際には、表示部は以下の図のような初期画面（電源を入れた時の画面）に戻りますので、再度プライミングを行ってください。

設定確認▽後 治療開始 ➡

この際、再プライミング時に250-300mlほど透析液を余分に使用しますので、その分も含めた透析液がバッグに十分残っているかご確認ください。

2）停電が治療中に発生した場合

機械は一時停止します。その後の動作は電源が復帰するまでの時間によって異なります。



30分以内に電源が復帰した場合

停止したところから治療は続行されます。

30分以内に電源が復帰しない場合

表示部に「電圧低下」が表示されます。

電圧低下

停止ボタンでアラームを止めてください。

ボタンで治療データを確認することができます。

約2時間以内に電源が復帰した場合

電源が復帰した時点で、表示部に「電源が復帰しました」が表示されます。

電源が復帰しました

停止ボタンでアラームを止めてください。

ボタンで治療データを確認することができます。

※停電時の治療時間に関する注意

停電時間は治療時間に含まれますので停電復帰後の貯留時間が短くなったり、治療完了時刻が変更される可能性があります。残りの治療と翌日の対応については主治医にご相談ください。

約2時間以内に電源が復帰しなかった場合

電源が復帰した時点で、表示部に「治療終了　除水量確認後→」の表示がされ、治療が終了します。残りの治療と翌日の対応については主治医にご相談ください。

治療修了　除水量確認後 ➡

計画停電が予定されていて、ゆめ/ゆめプラスの動作および治療時間が停電時間にかかる場合は、治療時間の変更などをかかりつけの病院でご相談ください。

くり〜んフラッシュの充電について

常に電源コードをコンセントに接続して電池を満充電の状態にしておきましょう。満充電であれば8回程度の照射が可能です。

＜充電が必要な時＞

●「電池状態」の文字上の赤ランプが点灯しますので、できるだけ早く充電しましょう。

要充電時の表示

＜充電中＞

●電源コードをコンセントに入れると「充電中」の文字上の⚡マークが光りますので、この状態になっているか確認してください。

充電中の表示

＜満充電＞

●12時間以上充電すると「電池状態」の文字上の緑ランプが点灯し満充電となります。

満充電、電池使用時の表示

●「電池状態」の文字上の緑ランプが点灯していても、充電が3時間未満の場合では、十分な照射が期待できない可能性がありますので、3時間以上の充電を心がけましょう。

※くり〜んフラッシュ取扱説明書の「充電のしかた」P.55 ~ 56をよく読んでお使いください。

停電時の対処として役所や消防署、病院など自家発電設備のある公共施設で充電させてもらった事例がありました。

電池がなくなり、電源が使用できない状態が続く場合にどうしたらよいか、かかりつけ病院と決めておきましょう。

＜メモ＞

かかりつけの病院に確認したことなど、メモしておきましょう。

＜メモ＞

かかりつけの病院に確認したことなど、メモしておきましょう。

＜メモ＞

かかりつけの病院に確認したことなど、メモしておきましょう。

バクスター株式会社　事業所一覧

サービパックグループ（配送に関係するお問い合わせ）

フリーコール　0120-03-3689
TEL：03-6894-3100　FAX：03-6220-0360
営業時間　月～金（祝祭日以外）　9：00 ～ 5：30

CAPDコールセンター（機器に関係するお問い合わせ）

〒889-1601　宮崎県宮崎市清武町木原4584番1号
フリーコール　0120-50-6440
TEL：03-6894-3005　FAX：03-6220-0351
24時間365日対応

本社　透析製品事業部

〒104-6009　東京都中央区晴海1丁目8番10号　トリトンスクエアX　9階
TEL：03-6204-3700　FAX：03-6204-3701
営業時間　月～金（祝祭日以外）　9：00 ～ 5：30

北海道ビジネスセンター

〒060-0003　北海道札幌市中央区北三条西1丁目1番地　サンメモリア第一生命ビル8階
TEL：011-261-6726　FAX：011-241-0052

北東北ビジネスセンター

〒020-0024　岩手県盛岡市菜園1-12-18　盛岡菜園センタービル3階
TEL：019-624-7530　FAX：019-624-7533

東北ビジネスセンター

〒980-0811　宮城県仙台市青葉区一番町1丁目2番25号　仙台NSビル8階
TEL：022-726-6041　FAX：022-223-1868

新潟ビジネスセンター

〒950-0911　新潟県新潟市中央区笹口1-26-9　アーバンネット新潟笹口ビル3階
TEL：025-249-2561　FAX：025-249-2571

信州ビジネスセンター

〒380-0921　長野県長野市栗田1005番地　大成コートワンビル4階
TEL：026-266-8459　FAX：026-266-8453

東京ビジネスセンター

〒104-6009　東京都中央区晴海1丁目8番10号　トリトンスクエアX 9階
TEL：03-6204-3720　FAX：03-6204-3721

さいたまビジネスセンター

〒330-0081　埼玉県さいたま市中央区新都心4番地3　ウェルクビル4階
TEL：048-601-3650　FAX：048-601-3660

横浜ビジネスセンター

〒224-0032　神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央42ー21　第2佐藤ビル505
TEL：045-943-2971　FAX：0120-402435

東海ビジネスセンター

〒460-0003　愛知県名古屋市中区錦3丁目11番33号　マニュライフプレイス名古屋7階
TEL：052-205-9500　FAX：052-205-9510

静岡ビジネスセンター

〒420-0851　静岡県静岡市葵区黒金町11番7号　三井生命静岡駅前ビル6階
TEL：054-250-8501　FAX：054-250-8510

北陸ビジネスセンター

〒921-8043　石川県金沢市西泉1丁目66番1号　スプリングポイント3階
TEL：076-244-9131　FAX：076-244-9130

関西ビジネスセンター

〒560-0083　大阪府豊中市新千里西町1-2-14　三井住友海上千里ビル2階
TEL：06-6155-0011　FAX：06-6155-0010

岡山ビジネスセンター

〒700-0826　岡山県岡山市北区磨屋町3番10号　住友生命岡山ニューシティービル8階
TEL：086-226-1400　FAX：086-226-2444

広島ビジネスセンター

〒730-0004　広島県広島市中区東白島町14番15号　NTTクレド白島ビル7階
TEL：082-211-0044　FAX：082-211-0034

四国ビジネスセンター

〒760-0033　香川県高松市丸の内11番10号　開発ビル3階
TEL：087-823-3260　FAX：087-823-3263

九州ビジネスセンター

〒810-0802　福岡県福岡市博多区中洲中島町2番　3号福岡フジランドビル3階
TEL：092-281-5411　FAX：092-271-4996

南九州ビジネスセンター

〒890-0062　鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目4番地35号　KSC鴨池ビル4階
TEL：099-257-0641　FAX：099-254-4014

沖縄ビジネスセンター

〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地2丁目15番8号　昭英ビル4階
TEL：098-863-5390　FAX：098-863-5391

宮崎工場

〒889-1601　宮崎県宮崎市清武町木原4584番1号
TEL：0985-85-7711　FAX：0985-85-5556

バクスター株式会社
本社：〒104-6009
東京都中央区晴海一丁目8番10号
TEL.03-6204-3700（代）

www.baxter.co.jp

MPTS100010